

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬学 I		動物健康美容学科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	矢吹 宴
授業の概要				
<p>本科目はトリマー・動物看護師として必要は犬の外観的特徴を理解し、多方面から犬・猫についての説明を行うための知識を学びます。犬猫の体の構造の基礎となる、骨格、筋肉、被毛の知識を学び、その特徴と飼育管理における飼主様へのアドバイスを行える人材を育成します。また犬体の特徴を理解し、イラスト描かけるようになることでトリミング仕上がりのイメージや臨床現場においての説明に役立てることができます。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬猫の骨格、筋肉、皮ふ、被毛の構造と特徴を理解する。</li> <li>・様々な種類の犬体を描けるようになる。</li> <li>・トリミングの仕上がリイメージを形にすることができる。</li> <li>・犬と猫の解剖的特徴・生理学的特徴 主な病気について学ぶ。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとしてペットショップ店長、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスをを行う。		
時間外に必要な学修				
毎回の授業の復習を行い、わからないところがあれば担当教員に質問するか自分で調べる。SNS、TV、映画、書籍などで犬を見て興味を持つ。ペットショップなどに出向き販売生体を見る。				
回	テーマ	内容		
1	犬学とは	犬学の概要と授業目的、成績評価方法について		
2	犬体を理解する1	犬体を理解し犬体を描く1		
3	犬体を理解する2	犬体を理解し犬体を描く2		
4	犬体を理解する3	犬体を理解し犬体を描く3		
5	骨格・犬体名称	骨格・犬体名称を理解する		
6	犬の歯	歯の咬み合わせと歯数		
7	犬の呼吸器、消化器	犬の呼吸器、消化器の名称と役割		
8	筋肉、皮膚	筋肉、皮膚の構造を知る		
9	被毛の構造	被毛の構造を知る		
10	目の構造、特徴、疾病	犬の目の構造、特徴、代表的な疾病を理解する		
11	鼻の構造、特徴、疾病	犬の鼻の構造、特徴、代表的な疾病を理解する		
12	トリマーができる健康チェック	ペットショップで働くトリマーができる健康チェック方法		
13	前期復習と振り返り	犬の体の特徴・構造のおさらい		
14	ペットショップでよくある質問	ペットショップでよくある質問の解説		
15	期末試験	期末試験を実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
くわしい犬学、授業プリント		出席率 課題・レポート 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 10.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬学Ⅱ		動物健康美容学科/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	矢吹 宴

## 授業の概要

本科目はトリマー・動物看護師として必要は犬の外観的特徴を理解し、多方面から犬・猫についての説明を行うための知識を学びます。犬猫の体の構造の基礎となる、骨格、筋肉、被毛の知識を学び、その特徴と飼育管理における飼主様へのアドバイスを行える人材を育成します。また犬体の特徴を理解し、イラスト描かけるようになることでトリミング仕上がりのイメージや臨床現場においての説明に役立てることができます。

## 授業終了時の到達目標

- ・犬猫の骨格、筋肉、皮ふ、被毛の構造と特徴を理解する。
- ・様々な種類の犬体を描けるようになる。
- ・トリミングの仕上がリイメージを形にすることができる。
- ・犬と猫の解剖的特徴・生理学的特徴 主な病気について学ぶ。

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

## 時間外に必要な学修

毎回の授業の復習を行い、わからないところがあれば担当教員に質問するか自分で調べる。SNS、TV、映画、書籍などで犬を見て興味を持つ。ペットショップなどに出向き販売生体を見る。

回	テーマ	内容
1	前期復習1	犬学の概要と授業目的、成績評価方法について、犬体を理解する
2	前期復習2	被毛と毛色を理解する。
3	犬に必要な食事と栄養1	犬に必要な食事と栄養について学ぶ
4	犬に必要な食事と栄養2	犬に害のある食物と中毒症状について理解する
5	犬の健康チェックと状態判断	犬の健康チェックで状態を判断する
6	犬の病気予防1	犬の病気予防の種類
7	犬の病気予防2	外部寄生虫の種類と対処方法
8	犬の病気予防3	内部寄生虫の種類と対処方法
9	犬の交配から出産1	犬の交配から出産についての知識
10	犬の交配から出産2	出産から仔犬の管理知識
11	老犬の飼養管理	老犬の飼養管理の知識を学ぶ
12	犬の骨格構成と歩様	犬の骨格構成と歩様の関係
13	愛犬とのお出掛け	ペットツーリズムとドッグランについて
14	前期おさらい	前期のおさらい
15	期末試験	期末試験を実施

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
くわしい犬学、授業プリント	出席率 課題・レポート 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 10.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学 I		動物健康美容学科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	松岡 樹

授業の概要

動物に関わる仕事に就いたら、動物だけではなく人の健康も守る必要があります。公衆衛生学 I では、動物や人の健康を守るために必要な感染症の知識や、消毒法、寄生虫について学習します。普段の掃除や動物の取り扱いをする際に、何に気をつけなければいけないかを理解し、飼い主様に説明できるようになりましょう。

授業終了時の到達目標

- ・感染症についての正しい知識を身に付ける。
- ・正しい消毒方法について理解し、その場に合ったものを使うことができる。
- ・飼い主様にワクチン、寄生虫についての説明ができる。
- ・感染症の予防法を理解し、実践できる。

実務経験有無 実務経験内容

時間外に必要な学修

毎時間、授業初めに前回の授業内容の確認テストを行います。しっかり復習するようにしましょう。

回	テーマ	内容
1	公衆衛生と感染	公衆衛生とは何か、感染とは何か
2	感染経路と滅菌	さまざまな感染経路の種類と滅菌法
3	消毒法	消毒法について
4	消毒法②	さまざまな消毒法
5	院内感染とペットショップ内感染	院内感染とペットショップ内感染の対処法
6	ワクチンについて	ワクチンのメカニズム
7	ワクチンについて②	犬猫のワクチンについて
8	ワクチンについて③	狂犬病ワクチンについて
9	寄生虫	寄生虫の種類
10	寄生虫②	犬猫に寄生する寄生虫
11	寄生虫③	犬猫に寄生する寄生虫②
12	寄生虫④	犬猫に寄生する寄生虫③
13	寄生虫⑤	犬猫に寄生する寄生虫④
14	寄生虫⑥	犬猫に寄生する寄生虫⑤
15	期末試験	公衆衛生学 I で学習した内容の試験

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
わかる犬の病気	期末試験	40.0%	
	確認テスト	20.0%	
	出席率	20.0%	
	授業態度	20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物健康管理・看護学		動物健康美容学科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	矢吹 宴

## 授業の概要

動物看護の基礎的内容を身に付ける

## 授業終了時の到達目標

動物の健康管理と予防・日常の管理・投薬を身に付ける

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスをを行う。

## 時間外に必要な学修

実践した内容についてレポートにまとめ期限までに提出する

回	テーマ	内容
1	動物看護師の仕事について	動物病院について 動物看護師の仕事について 動物業界の仕事に就くには、どんな人材が求められるのか?
2	犬体各部の名称	骨格について、関節の可動域の確認、動物の持ち方
3	保定について	さまざまな動物の保定
4	バイタルチェック	動物病院で実施するバイタルチェック
5	狂犬病について	法律、予防、罰則、現状、症状、狂犬病予防注射
6	日常の健康管理	日常の健康管理とお手入れ、耳掃除・肛門嚢・眼
7	不妊手術について	不妊手術の方法、メリット・デメリット
8	手術実習	手術実習見学
9	犬猫の予防	犬猫の予防とバイタルチェック
10	よくある手術	避妊手術・去勢手術など 来院数の多い疾患 皮膚病、外耳炎、胃腸炎・・・ 夏に増える緊急疾患 熱中症など
11	応急処置について	応急処置方法と実践
12	投薬方法	様々な投薬方法、経口投与・点眼・点耳
13	注射法	皮下注射・筋肉注射・静脈注射
14	歯について	歯の数・歯牙疾患・デンタルケア
15	期末テスト	期末テスト

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
コンパニオンアニマルの健康管理学	期末試験 授業態度 実習・実技評価 出席率	60.0% 10.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
飼養管理学 I		動物健康美容学科/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	角田 有優美
授業の概要				
動物飼養に関する知識を学ぶ 動物の習性・生理・生態を理解する				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物飼養管理士2級認定試験 合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
授業と並行して課題提出問題と教科書を利用して自主的に勉強を行う				
回	テーマ	内 容		
1	動物の体の仕組みと働き①	体の基本の仕組み 栄養を取り入れる		
2	動物の体の仕組みと働き②	酸素を取り入れる 老廃物の排出、異物の撃退と解毒		
3	動物の体の仕組みと働き③	情報を取り入れる、体内の情報伝達 子どもを生み育てる		
4	動物の飼養管理①	動物の適正な飼養・管理 動物との正しいかかわり方・動物の健康管理法と疾病予防		
5	動物の飼養管理②	環境衛生・飼養管理衛生・管理衛生		
6	動物の飼養管理③	動物の飼養に伴う公衆衛生・社会生活上の問題		
7	犬の飼養管理	犬とはどんな動物か・犬と暮らす 犬の気持ちを理解する・犬の健康管理		
8	猫の飼養管理	猫とはどんな動物か・猫と暮らす 猫の気持ちを理解する・猫の健康管理		
9	その他の哺乳類の飼養管理	ウサギ・ハムスター・モルモット・フェレット・チンチラ・シマリス		
10	鳥類の飼養管理	鳥類の飼養管理概論、インコ・オウム類の飼養管理・フィンチ・カナリア類の飼養管理、ニワトリ・アヒル・ハトの飼養管理、繁殖 手乗り取りとして飼養する		
11	爬虫類の飼養管理	ムカシトカゲ目、ワニ目、カメ目、有隣目トカゲ類、有隣目ヘビ類		
12	爬虫類の飼養管理	学習とは何か・生得的な行動と学習した行動 学習の種類、刷り込み		
13	動物のしつけ 学習理論	学習とは何か・生得的な行動と学習した行動 学習の種類、刷り込み		
14	犬と猫の社会化	社会化とは何か、犬の社会化・猫の社会化		
15	犬のしつけの基本	犬のしつけとは何か 犬の基本的しつけ方の実際		
16~ 30	愛玩動物飼養管理士2級認定試験過去問題	愛玩動物飼養管理士2級認定試験過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士 2級教本 第一巻		期末試験 授業態度 出席率 検定	30.0% 20.0% 20.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物行動学		動物健康美容学科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	矢吹 宴
授業の概要				
犬・猫の歴史、習性、行動、飼養方法について学ぶ				
授業終了時の到達目標				
動物の習性、行動について理解し、動物の行動の総合的理解をめざし、ペットショップや動物病院で接する動物に対して最適な扱いを行えるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとしてペットショップ店長、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスをを行う。		
時間外に必要な学修				
「動物の行動と健康管理」を熟読し、事前学習を行う。				
回	テーマ	内容		
1	動物行動学という学問について理解する	動機付け授業として、動物行動学の授業概要を説明 ・動物行動学学者について学ぶ		
2	犬と猫の行動学の基礎「動物の家畜化」について	犬・猫の進化の歴史と、野生動物から犬と猫への家畜化の過程を学ぶ		
3	犬学・猫学「犬と猫の行動学的特徴」を理解する	犬と猫の行動の特徴、外観的特徴について学ぶ		
4	犬・猫の成長に伴う行動の発達と機能を理解する	動物の行動には、生まれつき本能として備わっている「生得的行動」と生後の学習により獲得する「習得的行動」について学ぶ		
5	犬・猫の維持行動について学ぶ	犬猫の維持行動に伴う本能行動について学ぶ		
6	犬・猫の社会行動について学ぶ	社会行動で見られるコミュニケーションについて学ぶ		
7	犬・猫の生得的行動と習得的行動	視覚的コミュニケーション、聴覚的コミュニケーション、嗅覚的行動学における学習理論について学ぶ		
8	犬・猫以外の小動物の社会行動	鳥の社会行動について学ぶ 種類による「集団行動」や「単独行動」の特徴		
9	動物行動学に携わった学者たちについて学ぶ	「生得的行動」と「習得的行動」についてのまとめ		
10	しつけ・トレーニング(訓練)の理論と応用を学ぶ1	しつけ、トレーニングの基本、学習理論について学ぶ		
11	しつけ・トレーニング(訓練)の理論と応用を学ぶ2	犬のしつけに応用できる古典的条件づけとオペラント条件づけについて学ぶ		
12	習得的行動のまとめ	行動学における学習理論としての習得的行動について学ぶ		
13	犬のコミュニケーション行動	犬のコミュニケーション行動の特徴について学ぶ		
14	犬のしつけ、訓練の必要性を理解する	しつけと訓練の目的。しつけを教える場合のルールについて学ぶ		
15	前期期末試験	前期期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物の行動と健康管理		出席率 期末試験 授業態度	30.0% 60.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペットショップ学 I		動物健康美容学科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	角田 有優美

## 授業の概要

ペットショップで求められる知識について学ぶ

## 授業終了時の到達目標

ペットショップで即戦力となる知識を身につける

実務経験有無

実務経験内容

有

福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。

## 時間外に必要な学修

社会へ出る前にペットショップについてしっかり理解をし、必要な基礎知識を修得するため、テキスト、プリントを熟読する

回	テーマ	内容
1	導入	科目の目的、ペットショップとは ペットショップでのスタッフの役割、必要な知識とは
2	日本のペット産業の概要1	日本のペット産業の概要1
3	日本のペット産業の概要2	ペットショップの仕組み ペットショップにかかわる仕事
4	ペットショップの職業倫理と法律	ペットショップの責務
5	ペットショップの職業倫理と法律②	動物の愛護及び管理に関する法律 人と動物の共通感染症について
6	ペットショップの職業倫理と法律③	ペットショップでの販売業務に関するルールと法律
7	ペットショップの職業倫理と法律④	ペットショップの仕事に役立つ資格
8	ペットの歴史と生態	犬の歴史と生態
9	ペットの歴史と生態②	猫の歴史と生態
10	ペットの歴史と生態③	小動物の特徴と生態
11	犬と猫の繁殖と遺伝	繁殖を学ぶ心得と血統書の意義
12	犬と猫の繁殖と遺伝②	犬の発情と交配 猫の発情と交配
13	犬と猫の繁殖と遺伝③	遺伝について 犬の遺伝様式
14	犬と猫の繁殖と遺伝④	遺伝について② 犬の遺伝性疾患
15	期末試験	期末試験

教科書・教材

評価基準

評価率

その他

ペットショップ 基礎&amp;実践

期末試験  
出席率  
確認テスト

50.0%  
20.0%  
30.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペットショップ学Ⅱ		動物健康美容学科/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	角田 有優美
授業の概要				
ペットショップで求められる知識について学ぶ				
授業終了時の到達目標				
ペットショップで即戦力となる知識を身につける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
社会へ出る前にペットショップについてしっかり理解をし、必要な基礎知識を修得するため、テキスト、プリントを熟読する				
回	テーマ	内 容		
1	導入	前期の復習 ペットショップでのスタッフの役割、必要な知識とは		
2	ペットショップで取り扱う生体	鳥類について (サイズ、分類、基本行動)		
3	ペットショップで取り扱う生体②	鳥類について (鳥類の特徴、飼育管理)		
4	ペットショップで取り扱う生体③	うさぎについて (歴史、基礎知識、分類、品種、特徴)		
5	ペットショップで取り扱う生体④	うさぎについて (飼育管理)		
6	ペットショップで取り扱う生体⑤	ハムスターについて (分類、品種、特徴、飼育管理)		
7	ペットショップで取り扱う生体⑥	観賞魚について (品種、飼育管理)		
8	ペットショップで取り扱う生体⑦	フェレットについて (歴史、基礎知識、分類、特徴、飼育管理)		
9	在庫管理と顧客管理	在庫管理と顧客管理の意味、内容		
10	接客技術	ペットショップ特有の接客、注意点		
11	接客技術②	苦情への対応		
12	独立開業を目指す	開業の種類、必要な資格		
13	独立開業を目指す②	独立開業までの歩み、資金、心得		
14	後期まとめ	後期に授業内容のまとめと復習		
15	期末試験	筆記試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ペットショップ 基礎実践		期末試験 確認テスト 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグトレーニング		動物健康美容学科/1年	2024/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	矢吹 宴
授業の概要				
仔犬から成犬のしつけ法と、問題行動の改善について学ぶ				
授業終了時の到達目標				
ペット従事者として、犬のしつけ方法を習得する。お客様が飼育している愛犬の様々な問題行動に対するの改善アドバイスが出来るようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	トリマーとしてペットショップ店長、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスをを行う。			
時間外に必要な学修				
学校や家庭で実際の犬に対して実践する				
回	テーマ	内容		
1	動機付け。犬のしつけと訓練とは	ドッグトレーニングの必要性について理解する		
2	ペットを飼育するために必要なこと	ペットの位置づけ、ペット従事者の役割について学ぶ。		
3	日常生活に必要なしつけとは	人と犬が共存するために必要なしつけについて学ぶ。		
4	しつけを教えるためのルールとサイン	犬を飼育する場合に必要な知識や準備について・視符と声符について学ぶ。		
5	しつけ時に必要なもの	しつけを教えるために必要なリードやおやつについて学ぶ。		
6	飼い主として、トレーナーとして	飼い主が愛犬をしつける場合の心構えについて学ぶ。		
7	しつけをはじめる	しつけを始める時期とポイントについて学ぶ。		
8	アイコンタクト	犬の注意を引く、犬に名前を覚えさせる方法について学ぶ。		
9	ハウスのしつけを教える	ハウスのしつけの教え方について学ぶ。		
10	トイレのしつけを教える	トイレのしつけの教え方について学ぶ。		
11	スキンシップと遊び方	犬とのコミュニケーションをとるための方法について		
12	散歩のしつけとトレーニング	散歩のしつけの教え方について学ぶ。		
13	留守番のしつけとトレーニング	留守番のしつけの教え方について学ぶ。		
14	飼い主のマナー	飼い主として守るべきマナーについて学ぶ。		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物の行動と健康管理		出席率 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング総論		動物健康美容学科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	松岡 樹
授業の概要				
ペットショップ、動物病院で求められる犬の美容技術に関する基礎知識を学ぶ。 グルーミング、トリミング実習で必要な知識を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペット美容学についての基礎知識、必要性を学び理解する。</li> <li>・ベーシック作業を行う基礎知識を習得する。</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
毎時間、授業初めに前回の授業内容の確認のため、小テストを行います。復習するようにしましょう。				
回	テーマ	内容		
1	グルーミング総論とは。 実習道具について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目内容と、学ぶ目的を理解する。</li> <li>・実習道具の使い方、名称を覚える。</li> </ul>		
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グルーミングとは</li> <li>・グルーミング作業について。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グルーミング作業の流れと作業内容を理解する。</li> <li>・グルーミングとは(グルーミング用語・内容)</li> </ul>		
3	グルーミング作業① 「ブラッシング」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラッシングとは</li> <li>・ブラッシングの必要性和やり方</li> </ul>		
4	グルーミング作業② 「爪切り・耳掃除」	爪切り・耳掃除の必要性和やり方		
5	グルーミング作業③ 「ベイジング」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベイジングとは</li> <li>・ベイジングの必要性和やり方、時短のコツ</li> </ul>		
6	グルーミング作業④ 「ドライイング」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライイングとは</li> <li>・ドライイングのやり方と時短のコツ</li> </ul>		
7	グルーミング作業⑤ 「クリッピング」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリッピングとは</li> <li>・クリッピングのやり方と注意点</li> </ul>		
8	グルーミング作業⑥ 「トリミング」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリミングとは</li> <li>・トリミングの必要性</li> </ul>		
9	グルーミング作業⑦ 「リボン付けの知識と練習」	リボン付けについての説明 (作り方と付け方、付ける練習)		
10	グルーミング作業⑧ 「モデル犬の保定」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保定とは</li> <li>・保定の必要性和やり方、注意点</li> </ul>		
11	トリミング犬種とグルーミング犬種	トリミング犬種とグルーミング犬種の違い		
12	ペットクリップとショークリップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットクリップとショークリップの違い</li> <li>・カットスタイルの意味</li> </ul>		
13	ペットクリップ (プードル、ポメ、シーズー、マル)	一般的なペットクリップのやり方		
14	猫のトリミング	猫のトリミングの必要性		
15	期末試験	グルーミング総論で学習した内容の試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCドッググルーミングマニュアル		期末試験 出席率 授業態度 確認テスト	40.0% 20.0% 20.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング各論		動物健康美容学科/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	松岡 樹
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットショップ、動物病院で求められる犬の美容技術に関する基礎知識を学ぶ</li> <li>・研修先で即戦力となるグルーミングの基礎知識を学び、AAV協サロントリマー3級筆記試験の合格を目指す</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットショップ、動物病院で求められる犬の美容技術に関する基礎知識を身に付ける</li> <li>・研修先で即戦力となるグルーミングの基礎知識を学び、AAV協サロントリマー3級筆記試験の合格する</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
毎時間初めに前回の授業内容の確認テストを行います。しっかり復習してください。				
回	テーマ	内容		
1	前期の復習	前期「グルーミング総論」の復習		
2	動物病院、ペットショップでのグルーミングについて	動物病院とペットショップとで求められるグルーミング力の違いについて		
3	犬と猫の皮膚・被毛の管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬と猫の皮膚、被毛の管理に必要な知識を学ぶ</li> <li>・被毛の状態、手入れ、育毛方法を理解する</li> </ul>		
4	トリマーに必要なしつけの知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリマーとして仔犬を販売する際に必要なしつけの知識</li> <li>・グルーミング中に行うしつけについて</li> </ul>		
5	トリマーに必要な保定の知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬に負担をかけず効率よく作業を行う保定方法</li> <li>・関節の向きと可動域について</li> </ul>		
6	トリミング手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリミングの手順と作業時間の意識</li> <li>・クリッピング～後躯のトリミング作業のポイント</li> </ul>		
7	トリミング手順②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリミングの手順と作業時間の意識</li> <li>・前肢～全体のトリミング作業のポイント</li> </ul>		
8	荒刈と仕上げについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な荒刈りの技法と仕上げの技法の違いについて</li> <li>・シザーリングとチップングとはなにか理解する</li> </ul>		
9	グルーミング実習における問題点	グルーミング実習における問題点の洗い出しと対策方法のアドバイスを行う		
10	グルーミングのおさらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラッシングからボドライン作業を効率よく行うポイント</li> <li>・ケガをさせないために注意することとは</li> </ul>		
11	トリミングについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プードルのトリミング仕上がりイメージ</li> <li>・ケネルクリップとテディクリップについて</li> </ul>		
12	トリミングについて②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリミング犬種のトリミング仕上がりイメージ</li> <li>・シーズ、マルチーズ、ポメについて</li> </ul>		
13	トリミングについて③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリミング犬種のトリミング仕上がりイメージ</li> <li>・シュナウザー、コッカー、ポメラニアンについて</li> </ul>		
14	トリミングについて④ 研修中に必要な技術とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリミング犬種のトリミング仕上がりイメージ</li> <li>・ビションについて</li> <li>・研修で求められる知識とは何かを説明</li> </ul>		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・JKCドッググルーミングマニュアル</li> <li>・ドッグ・グルーマーズ・プロフェッショナル・ワークブック</li> </ul>		出席率 授業態度 確認テスト 期末試験	20.0% 10.0% 10.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング基礎実習		動物健康美容学科/1年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	75回	5単位(150時間)	必須	角田 有優美
授業の概要				
実習道具や犬の扱い方、グルーミング作業の流れについて知る				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習道具や犬を正しく扱える</li> <li>・犬に負担のないトリミングを行えるようになる</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日1回、犬体の絵を描く</li> <li>・シザー練習</li> </ul>				
回	テーマ	内容		
1～6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動機付け</li> <li>・実習について(流れ、道具・犬の扱い、作業内容)</li> </ul>	実習中の注意事項等を資料を用いて説明し、見学、実践を通して実習の流れを理解する。		
7～20	モデル犬のグルーミング(道具を正しく扱いながら作業する。)	実習道具の正しい扱い方を意識しながら、1日で1頭のモデル犬を仕上げる。		
21～40	モデル犬のグルーミング②(道具を正しく扱いながら作業する。)	実習道具の正しい扱い方を意識しながら、1日で1頭のモデル犬を仕上げる。		
41～50	モデル犬のグルーミング③(犬に負担のないような保定を意識し、作業を行う。)	犬の体に負担のない体勢で保定を行い、作業をする。		
51～75	モデル犬のグルーミング④(犬に負担のないような保定を意識し、作業を行う。)	犬の体に負担のない体勢で保定を行い、作業をする。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・JKCドッググルーミングマニュアル</li> <li>・ドッググルーマーズプロフェッショナルワークブック</li> </ul>		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	40.0% 10.0% 20.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング応用実習		動物健康美容学科/1年	2024/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	90回	6単位(180時間)	必須	角田 有優美
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディクリッピングや部分カットを行う</li> <li>・犬種による扱い方、洗い方の違いを知る</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の流れを把握し、自主的に作業を進められるようになる</li> <li>・ボディクリッピングの仕方、部分カットのやり方が理解できる</li> <li>・犬種による扱い方、洗い方の違いが理解できる</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日1回、犬体の絵を描く</li> <li>・シザー練習</li> </ul>				
回	テーマ	内容		
1~30	モデル犬のグルーミング (自主的に作業を行う)	自主的に作業を進め、1~2人で1~2頭のモデル犬を仕上げる。		
31~60	モデル犬のグルーミング② (ボディクリッピング)	ボディクリッピングのトリミングを行う。		
61~90	モデル犬のグルーミング③ (部分カット)	シザーの扱いに注意し、部分的なカットを行う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・JKCドッググルーミングマニュアル</li> <li>・ドッググルーマーズプロフェッショナルワークブック</li> </ul>		出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	40.0% 10.0% 20.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
PC実習		動物健康美容学科/1年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	甲斐 滋美
授業の概要				
Microsoft社のWordを使用し、ワープロソフトの基本操作と文字を正確に早く入力する力を養い、一般的なビジネス文書の仕組みを学習する。				
授業終了時の到達目標				
10分間に300文字以上を入力できる 20分間で基本的な文書を作成することができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		病院にて秘書として3年、医療事務として20年の実務経験 秘書・事務として病院施設でOffice製品を駆使していた場面を用いて学生がイメージしやすいように授業を展開する。		
時間外に必要な学修				
文書採点後の復習と、入力速度を上げる練習をする				
回	テーマ	内容		
1	動機づけ	今学期の予定と目標の確認、評価の説明		
2	タッチタイピング	あいうえおの速い入力 10分間での計測		
3	文書の設定と保存	ページ設定とファイルの保存・読み込み・印刷		
4	文書の作成と級の確定	基本的な文書の構成・受験目標とする級を確定する		
5	プリントの配布と練習	確定した級のプリントの配布と速度・文書作成の練習		
6	速度・文書作成の練習	速度と文書の練習と採点と復習		
7	速度・文書作成の練習	速度と文書の練習と採点と復習		
8	速度・文書作成の練習	速度と文書の練習と採点と復習		
9	試験対策	第124回・125回過去問で模擬試験の実施		
10	検定対策	第126回・127回過去問で模擬試験の実施		
11	検定対策	第128回・129回過去問で模擬試験の実施		
12	ワープロ検定	ワープロ検定実施		
13	図形の挿入	図形を使って地図の作成		
14	カメラの画像の挿入	スマートフォンを使ってパソコンへの画像の挿入		
15	期末試験	期末試験実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		検定試験	10.0%	
		課題	40.0%	
		出席率	20.0%	
		授業態度	30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネス文書		動物健康美容学科/1年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	角田 有優美
授業の概要				
ビジネス文書3級に合格するための知識の修得				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス文書3級合格</li> <li>・ビジネス文書をつかうことが出来る</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
ビジネス文書3級合格に向けてテキストを熟読し、過去問題で確認する				
回	テーマ	内容		
1	導入	ビジネス文書検定の受け方・試験の範囲・3領域の説明		
2	過去問題で検定を理解する。	過去問題で解説		
3	過去問題で検定を理解する。	過去問題で解説		
4	実用文を書くにあたって知っておくべき用語	社内文書の常用漢字、現代仮名遣いの使い方		
5	実用文を書くにあたって知っておくべき用語②	仮名書きすべき文字、送り仮名の付け方		
6	実用文を書くにあたって知っておくべき用語③	一般用語、用字、慣用語		
7	実用文を書くにあたって知っておくべき用語④	一般用語、用字、慣用語		
8	実用文を書くにあたって知っておくべき用語⑤	グラフ、用紙、郵便物		
9	過去問題を解く	過去問題を解く		
10	過去問題を解く	過去問題を解く		
11	過去問題を解く	過去問題を解く		
12	過去問題を解く	過去問題を解く		
13	過去問題を解く	過去問題を解く		
14	過去問題を解く	過去問題を解く		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定3級ガイド		期末試験 確認テスト 出席率 検定	30.0% 20.0% 20.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サービス接遇		動物健康美容学科/1年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	角田 有優美
授業の概要				
サービス接遇3級試験の合格に向けて、サービス業務に対する心構え、対人心理、応対の技術、口のきき方、態度・振舞などを理解する。サービス(相手に満足を提供する)と接遇(相手に満足を提供する行動)を理解する				
授業終了時の到達目標				
サービス接遇3級試験合格。サービス業のスタッフとしてサービス接遇をこなせる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして3年半勤務		
時間外に必要な学修				
検定合格の知識を身につけるため、テキストを熟読し、過去問題で試験問題に慣れる				
回	テーマ	内容		
1	導入	導入、検定の受け方、試験の範囲、説明		
2	過去問題を見て検定を理解する	過去問題で解説		
3	過去問題を見て検定を理解する②	過去問題で解説		
4	サービススタッフの資質	必要とされる要件		
5	専門知識	サービス知識		
6	一般知識	社会知識		
7	対人技能	人間関係、接遇知識		
8	実務技能	問題処理		
9	模擬テスト	各自過去問題を解く		
10	模擬テスト	各自過去問題を解く		
11	模擬テスト	各自過去問題を解く		
12	模擬テスト	各自過去問題を解く		
13	模擬テスト	各自過去問題を解く		
14	模擬テスト	各自過去問題を解く		
15	期末試験	姿勢と笑顔		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接遇3級試験ガイド 問題		過去 期末試験 出席率 小テスト 検定結果	30.0% 20.0% 20.0% 30.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		動物健康美容学科/1年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	松岡 樹
授業の概要				
専門学校での学習の意味を理解し、就職活動に向けて必要なスキルや考え方、自己を表現できる方法を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>履歴書が書ける。</li> <li>面接での受け応えができる。</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション 社会人基礎講座で学ぶことの解説 「就職活動の世界」を知る	担当教員自己紹介 社会人基礎講座授業の解説と学ぶ意義について		
2	モノの見方 就活基礎教育(1)	自分自身のモノの見方を把握しよう 人それぞれにモノの見方は異なることを理解しよう		
3	偶然がつくる人生	意識の持ち方で見えるものが変わってくる		
4	「就職活動の世界」を知る	社会を見るセンスを磨く 自分はどんなニュースに興味があるのか		
5	考え方 就活基礎教育(2)	いろいろな考え方を知ることで様々な視点から物事を捉えられる		
6	話の聴き方 就活基礎教育(4)	相手の話の聴き方 聴く姿勢、聴き方のコツがあります		
7	文章の書き方と構成の仕方 就活基礎教育(3)	伝えたいこと=文章で見える化 要点をおさえる。事実と解釈は別もの。		
8	・自分を知る工夫(1)(2) ・学生時代に力を入れたこと	(1)記憶から自分をたどる(2)他者の力を借りる 行動の動機や根拠を大切に書く		
9	履歴書の書き方と伝え方	履歴書は自分自身の「事実」を書くもの 基本や手順を追って理解しよう		
10	自己PR(自己紹介文)を書く	自己PRの基礎をおさえよう		
11	自分に合った仕事・会社を探す	働くうえで自分が大切にしたいことはなにか。 どんな環境で働きたいのか。		
12	仕事の見つけ方	どんな仕事に就こうと考えているのか その仕事に就くにあたって必要なスキルはなんだろうか。		
13	志望動機を書く	志望動機を組み立てる3つの柱 「自己分析」「情報収集」「会社でやりたいこと」		
14	世の中の仕事を知る	自分の興味のある業界はどこなのかを選んでみよう また、なぜそれに興味を持つ理由はなにか考えよう。		
15	面接の基本	面接の中身から外見(上辺)まで。面接の準備に向けて。面接は自己表現の場。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>熱血!森吉弘の就勝ゼミ教材</li> <li>就活動画教材</li> </ul>		出席率 課題・レポート 授業態度	40.0% 40.0% 20.0%	授業を通して自身の就職先について考えましょう。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		動物健康美容学科/1年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	松岡 樹
授業の概要				
卒業後の社会人生活において十分に活躍できるよう、知識・スキル・精神等の人間力を高める。				
授業終了時の到達目標				
卒業後の社会人生活において十分に活躍できるよう、知識・スキル・精神等の人間力を高める。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
自分の身近にいる社会人を見てイメージを膨らませる				
回	テーマ	内容		
1	前期から後期への切り替え	・入学直後の各自の気持ちを回顧し、後期に行っていく「就職活動の準備」に向け気持ちを切り替える		
2	努力の確認①	一般常識		
3	自己分析と自己認識	自己分析と自己認識		
4	自己分析から自己PRへ	面接試験や履歴書へ記入するための自己PRを考える		
5	価値観	大切にしたいこと(自己分析)		
6	働くとは	就職、就職活動		
7	自分に合う仕事・会社	自己分析・企業研究		
8	自分の職場を探す	自己分析・企業研究		
9	仕事・会社に合う自分	自己分析・企業研究		
10	目標と現状の確認	目標のリニューアル		
11	価値交流とコンセンサス	コミュニケーションワーク		
12	価値交流とコンセンサス	コミュニケーションワーク		
13	努力の確認②	統一模試		
14	仕事とチームワーク	就職、仕事のためにチームワークの大切さを理解する		
15	年間総括	1年間を総括して、1年間の学生生活を振り返る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率	50.0%	
		課題・レポート	30.0%	
		授業態度	20.0%	